

# 決算説明資料

～2013年3月期～

説明会開催予定日  
2013年5月15日(水)

日本ハム株式会社

# 目次

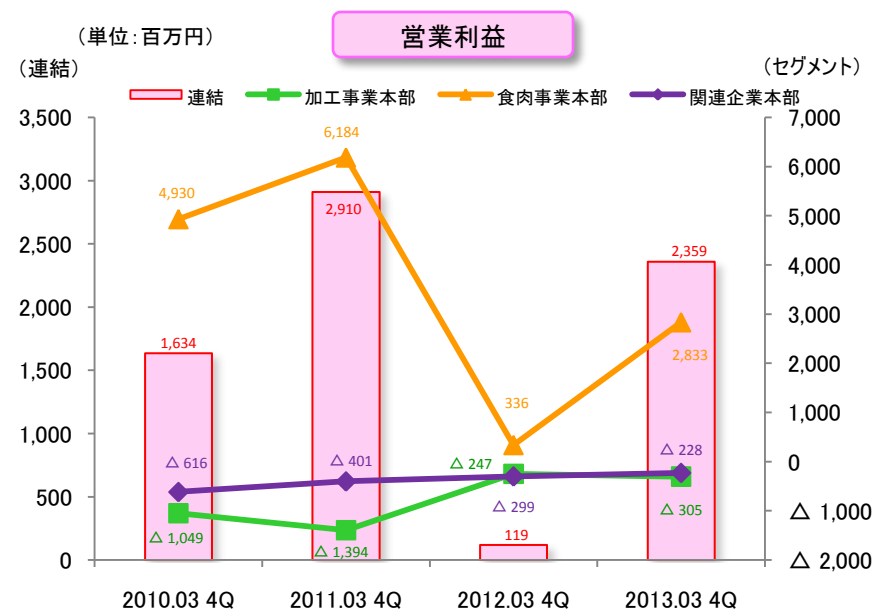
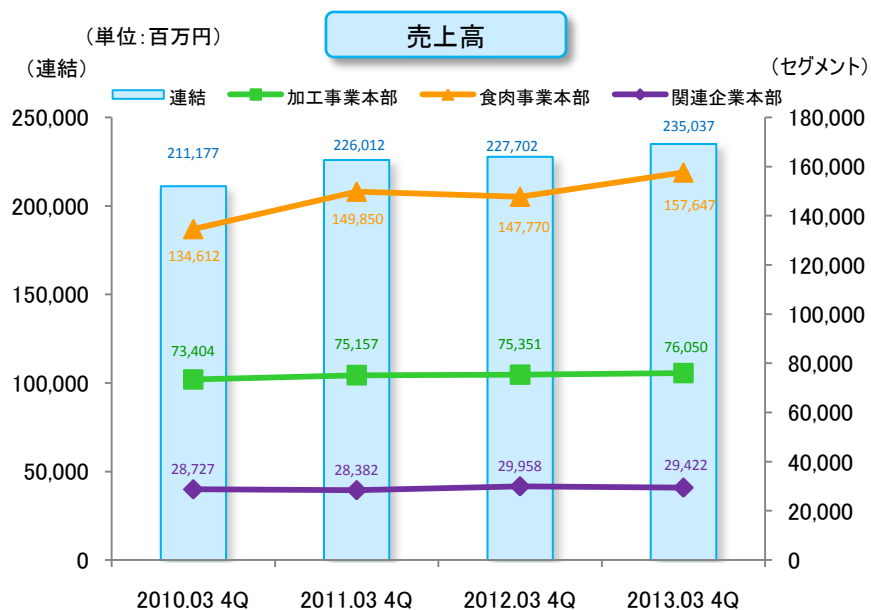
- I . 2013年3月期 期末連結業績の総括
- II . 2014年3月期の見通し
- III . 2013年3月期 期末財務データ

# I . 2013年3月期 期末連結業績の総括

1. オペレーティング・セグメント情報 第4四半期
2. オペレーティング・セグメント情報 通期
3. オペレーティング・セグメント情報 加工事業本部
4. オペレーティング・セグメント情報 食肉事業本部
5. オペレーティング・セグメント情報 関連企業本部
6. 海外 主要所在地別業績実績

(単位: 百万円)

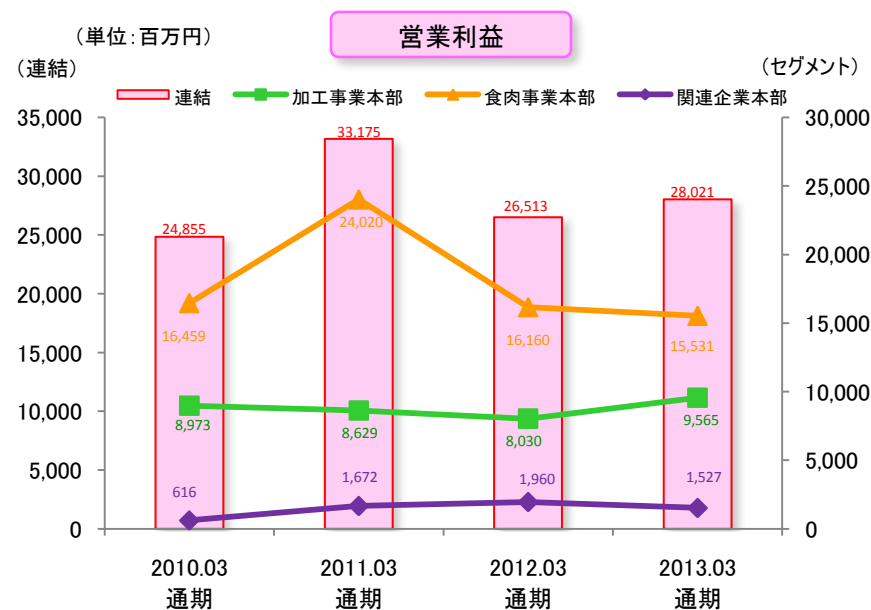
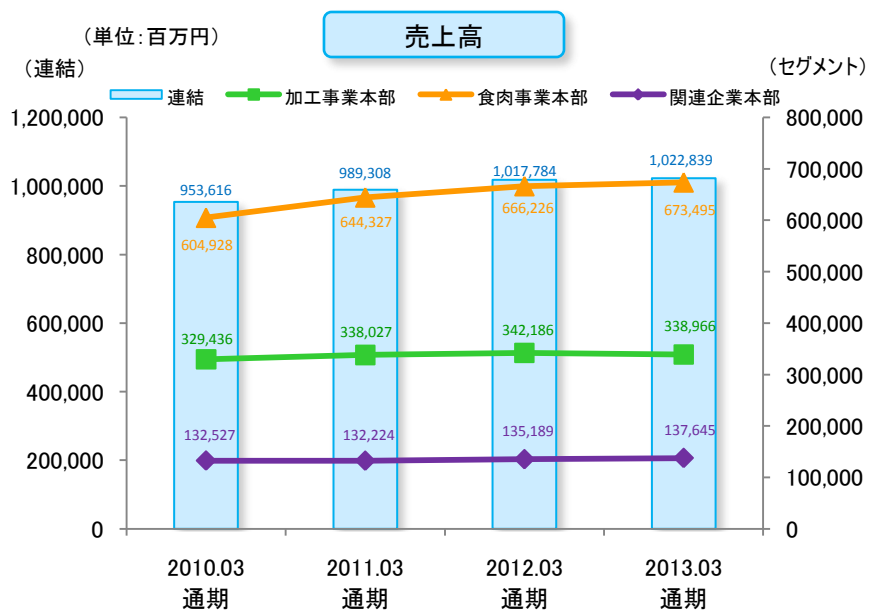
		2010.03 4Q	2011.03 4Q	2012.03 4Q	2013.03 4Q
加工事業本部	売上高	73,404	75,157	75,351	76,050
	営業利益	△ 1,049	△ 1,394	△ 247	△ 305
食肉事業本部	売上高	134,612	149,850	147,770	157,647
	営業利益	4,930	6,184	336	2,833
関連企業本部	売上高	28,727	28,382	29,958	29,422
	営業利益	△ 616	△ 401	△ 299	△ 228
消去調整他	売上高	△ 25,566	△ 27,377	△ 25,377	△ 28,082
	営業利益	△ 1,631	△ 1,479	329	59
連結合計	売上高	211,177	226,012	227,702	235,037
	営業利益	1,634	2,910	119	2,359



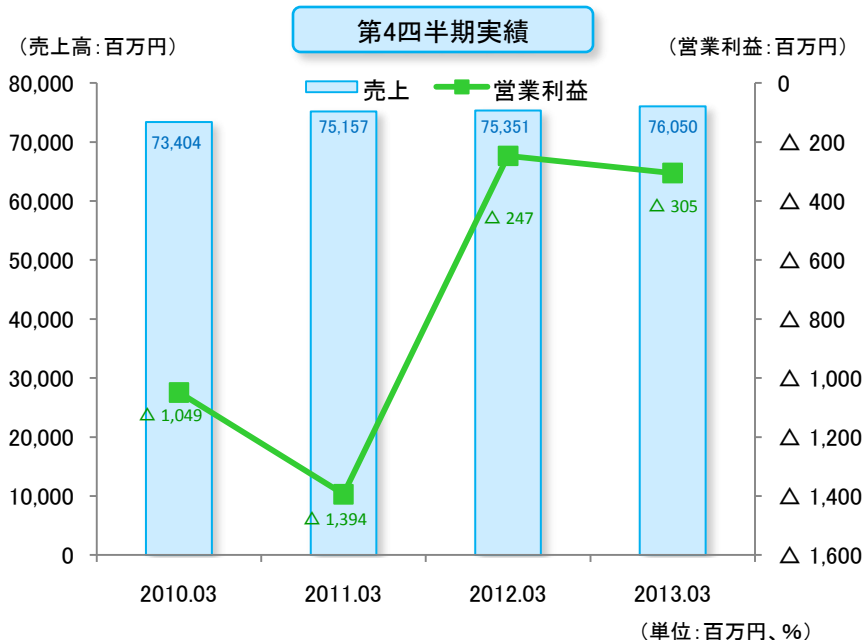
※オペレーティング・セグメント情報のセグメント別売上高と、当資料P22の品種別の売上高の数値とは一致しません。  
 ※各セグメントの売上高はセグメント間の内部売上高が含まれています。

(単位:百万円)

		2010.03 通期	2011.03 通期	2012.03 通期	2013.03 通期
加工事業本部	売上高	329,436	338,027	342,186	338,966
	営業利益	8,973	8,629	8,030	9,565
食肉事業本部	売上高	604,928	644,327	666,226	673,495
	営業利益	16,459	24,020	16,160	15,531
関連企業本部	売上高	132,527	132,224	135,189	137,645
	営業利益	616	1,672	1,960	1,527
消去調整他	売上高	△ 113,275	△ 125,270	△ 125,817	△ 127,267
	営業利益	△ 1,193	△ 1,146	363	1,398
連結合計	売上高	953,616	989,308	1,017,784	1,022,839
	営業利益	24,855	33,175	26,513	28,021



※オペレーティング・セグメント情報のセグメント別売上高と、当資料P22の品種別の売上高の数値とは一致しません。  
 ※各セグメントの売上高はセグメント間の内部売上高が含まれています。



	2012.03 4Q	2013.03 4Q	前年差	前年比
売上高計	75,351	76,050	699	0.9
営業利益	△ 247	△ 305	△ 58	-
営業利益率	△ 0.3	△ 0.4	-	-

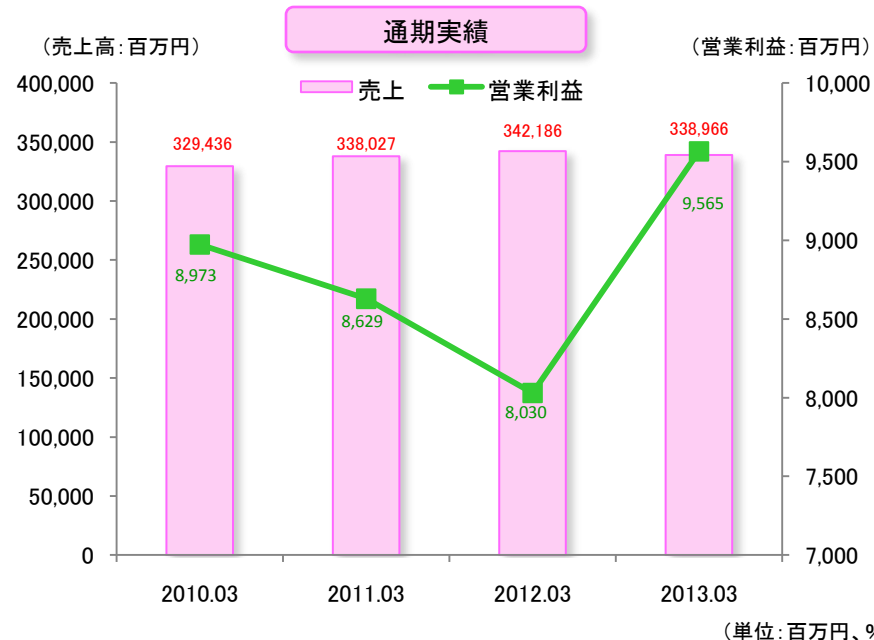
**【第4四半期の状況】**

(売上高)

・ハム・ソーセージ、加工食品ともにコンシューマ商品が堅調に推移し、増収。

(営業利益)

・原材料・燃料価格高騰と円安による海外仕入品の収益減のほか、業務用商品の数量減により、減益。



	2012.03 通期	2013.03 通期	前年差	前年比
売上高計	342,186	338,966	△ 3,220	△ 0.9
営業利益	8,030	9,565	1,535	19.1
営業利益率	2.3	2.8	-	-

**【通期の状況】**

(売上高)

・ハム・ソーセージは『シャウエッセン』や新商品の『もう切ってますよ！焼豚』が堅調に推移。加工食品は、ハンバーグ群が堅調に推移したが、業務用商品の売上が低迷し、減収。

(営業利益)

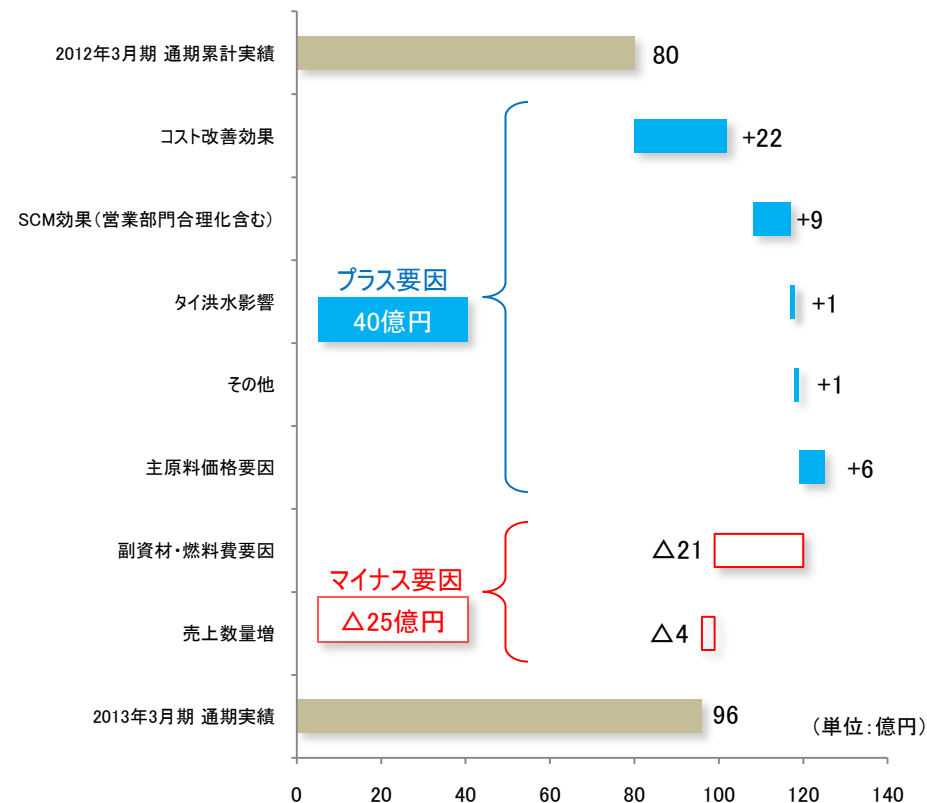
・副資材・燃料等の高騰を、コストダウンやSCM効果でカバーし、増益。

【営業利益増減要因分析】

	2013.03 通期 計画と実績				
	3Q累計 実績	4Q 実績	通期 計画	通期 実績	計画 差異
コスト改善効果	18億円	4億円	19億円	22億円	3億円
SCM効果(営業部門合理化含む)	7億円	2億円	9億円	9億円	0億円
タイ洪水影響	△2億円	3億円	1億円	1億円	0億円
主原料・副資材要因					
(内訳)主原料価格	6億円	0億円	7億円	6億円	△1億円
(内訳)副資材・燃料等	△18億円	△3億円	△21億円	△21億円	0億円
売上数量増	△1億円	△2億円	0億円	△3億円	△3億円
その他	6億円	△5億円	9億円	1億円	△8億円
合計	16億円	△1億円	24億円	15億円	△9億円

※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合がございます

【通期実績の増減要因グラフ】



●差異要因分析(通期)

【主原料、副資材要因】

⇒主原料安の効果はあったが、羊腸、燃料等の高騰でトータル15億円のマイナス要因。

【売上数量増】

⇒ハム・ソーセージ、加工食品ともコンシューマ商品が伸長したが、加工食品の業務用商品の数量減で計画を下回った。

●ギフト売上実績

- ・2013年3月期の実績は、前年個数比：約100%  
(美ノ国は、前年比：133%)
- ・年間を通してTVCM、雑誌広告等の販促を実施
- ・店頭用販促強化による販売個数のアップ

(参考)2012年市場データ (株)インテージ推計値

- ・ギフト市場全体 前年比96.5%
- ・ハムソーギフト市場 前年比96.7%



(写真)フラッグシップギフト「美ノ国」

【(参考)ギフト販売個数 実績と2013年3月期販売実績】

(単位：千個)

		2012.03 実績		2013.03 実績	
		個数	前年比	個数	前年比
中元	全体販売個数	2,003	101%	2,026	101%
	(うち美ノ国)	244	129%	315	129%
歳暮	全体販売個数	4,799	99%	4,759	99%
	(うち美ノ国)	540	135%	727	135%
合計	全体販売個数	6,802	100%	6,785	100%
	(うち美ノ国)	784	133%	1,042	133%
	(構成比)	12%		15%	

●主要ブランド売上実績

【(参考) 主要ブランド商品売上高実績(対前年同期比)】

ハム・ソーセージ	2013.03累計実績			加工食品	2013.03累計実績		
	上期	下期	通期		上期	下期	通期
シャウエッセン	103%	103%	103%	石窯工房群	100%	108%	104%
森の薫り新あらびきウインナー	87%	83%	85%	中華名菜群	96%	107%	101%
ローズハム群	94%	96%	95%	プリフライ群	92%	89%	90%
ベーコン群	106%	102%	104%	ハンバーグ・ミートホール群	121%	129%	125%
焼豚群	119%	126%	123%	カレー群	114%	101%	107%

(写真)「とろける4種チーズのハンバーグ」



(写真)「もう切ってますよ！」シリーズ

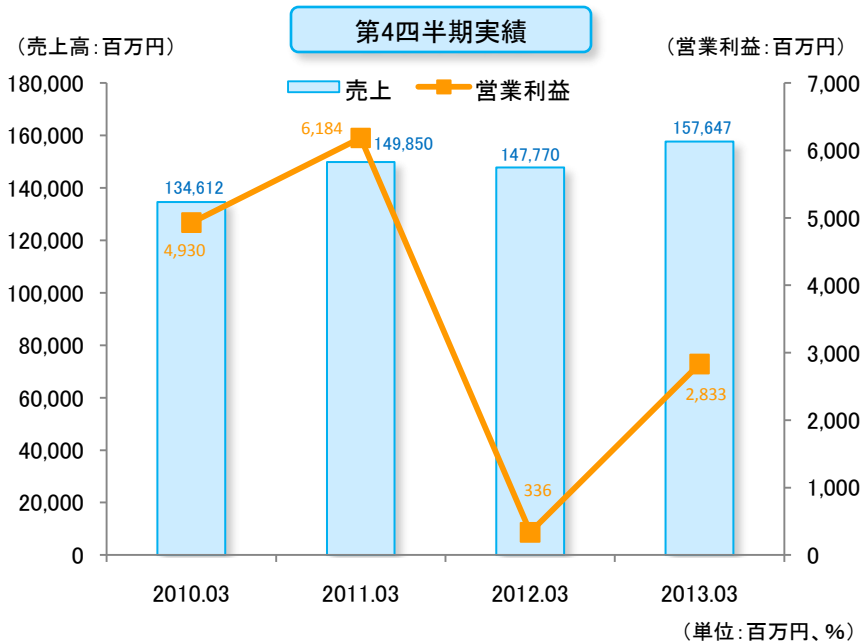
●チャンネル別売上実績

【(参考)2013年3月期通期 チャンネル別伸び率(対前年同期比)】

- ①コンシューマ商品  
ハム・ソーセージ、加工食品とも堅調に推移
- ②業務用商品  
CVSカウンター、外食チャンネルにおいて加工食品が苦戦

		数量		金額	
		伸び率	伸び率	伸び率	伸び率
ハム・ソーセージ	コンシューマ	103%	103%	103%	103%
	業務用	101%	102%	102%	102%
	合計	102%	102%	102%	102%
加工食品	コンシューマ	102%	102%	102%	102%
	業務用	95%	93%	93%	93%
	合計	99%	97%	97%	97%





	2012.03 4Q	2013.03 4Q	前年差	前年比
売上高計	147,770	157,647	9,877	6.7
営業利益	336	2,833	2,497	743.2
営業利益率	0.2	1.8	-	-

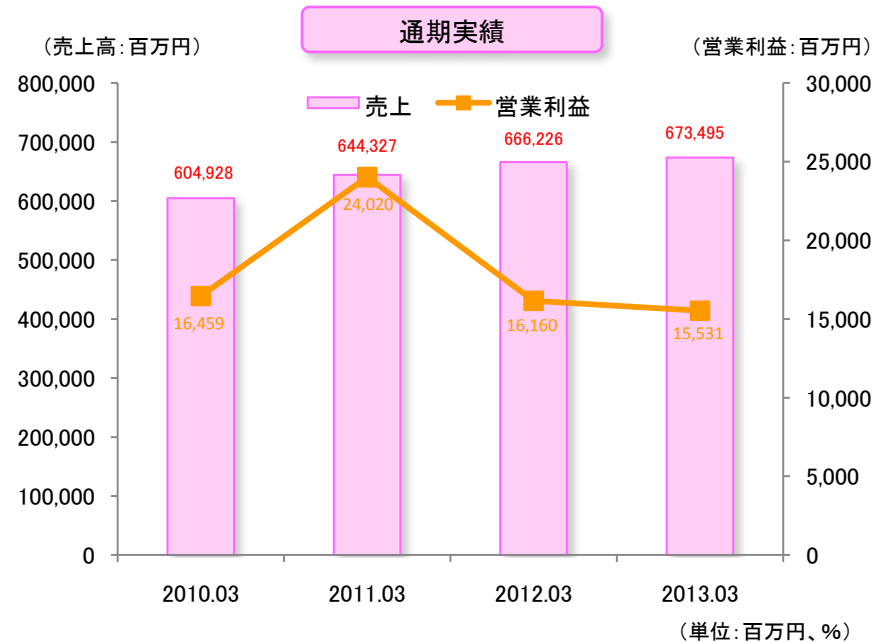
**【第4四半期の状況】**

(売上高)

- ・主に牛肉、鶏肉の単価上昇により増収。

(営業利益)

- ・輸入鶏肉は相場上昇により採算性が改善。
- ・豪州事業は売上拡大等により収益が大幅に改善。



	2012.03 通期	2013.03 通期	前年差	前年比
売上高計	666,226	673,495	7,269	1.1
営業利益	16,160	15,531	△ 629	△ 3.9
営業利益率	2.4	2.3	-	-

**【通期の状況】**

(売上高)

- ・国内の牛肉販売において、数量・金額ともに改善し、増収。

(営業利益)

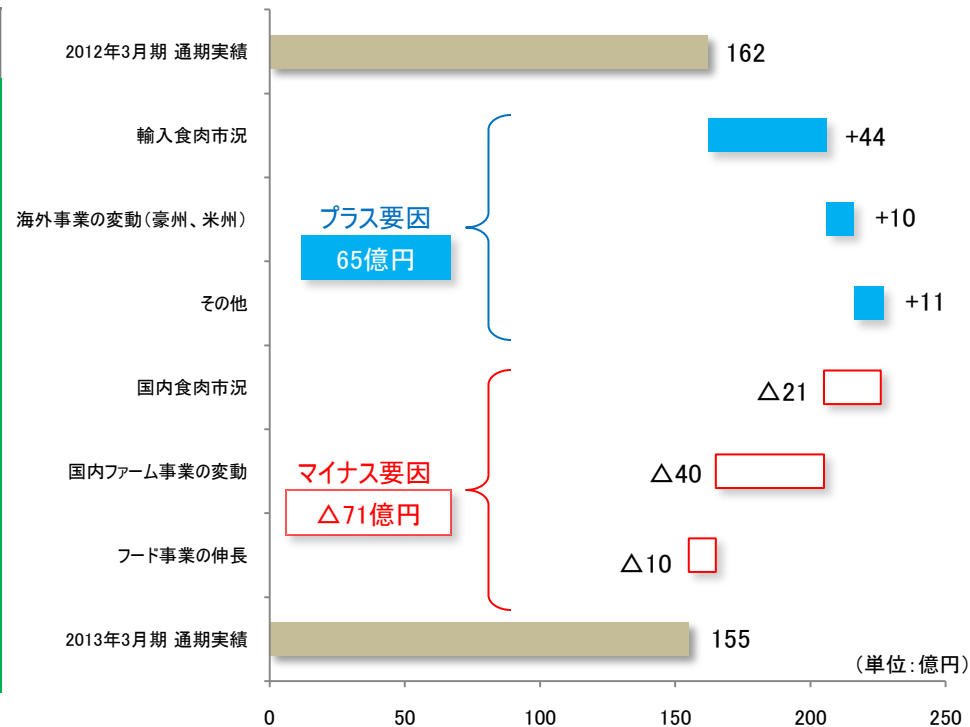
- ・国内ファーム事業は、国内食肉相場下落により、減益。

【営業利益増減要因分析】

【通期実績の増減要因グラフ】

	2013.03 通期 計画と実績				
	3Q累計 実績	4Q 実績	通期 計画	通期 実績	計画 差異
輸入食肉市況	11億円	33億円	30億円	44億円	14億円
海外事業の変動(豪州、米州)	3億円	7億円	13億円	10億円	△3億円
国内食肉市況	△20億円	△1億円	△23億円	△21億円	2億円
国内ファーム事業の変動	△30億円	△10億円	△28億円	△40億円	△12億円
フード事業の伸長	△3億円	△7億円	△4億円	△10億円	△6億円
その他	8億円	3億円	12億円	11億円	△1億円
合計	△31億円	25億円	0億円	△6億円	△6億円

※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合がございます



● 差異要因分析(通期)

【輸入食肉】

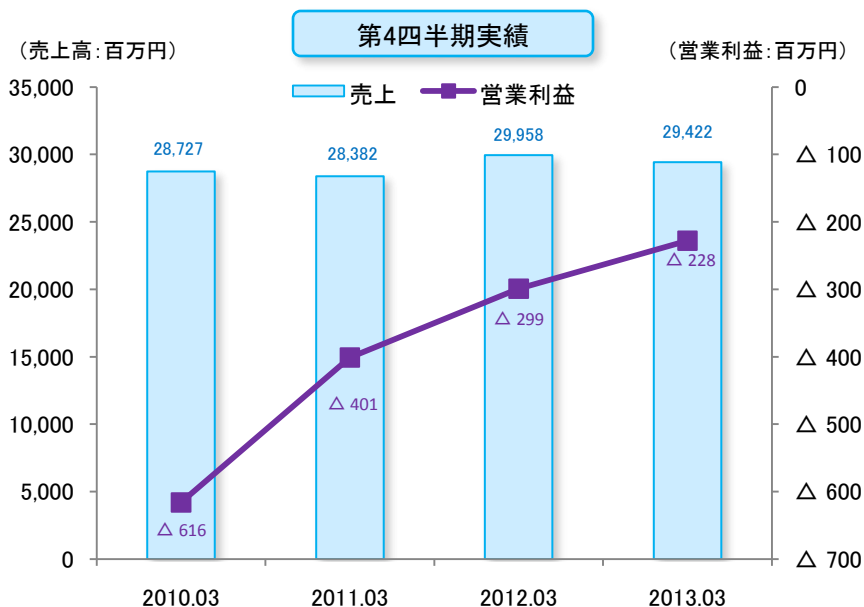
⇒輸入鶏肉の相場回復に伴い、第2四半期以降において大きく改善。

【食肉販売】

⇒国内食肉販売全体では3.7%(数量ベース)伸長したが、フード会社については食肉相場の低迷が続いたため利益は減少。

【国内ファーム事業の変動】

⇒国産豚肉・国産鶏肉の相場が前期を下回ったことから、大幅に減益。



(単位: 百万円, %)

	2012.03 4Q	2013.03 4Q	前年差	前年比
売上高計	29,958	29,422	△ 536	△ 1.8
営業利益	△ 299	△ 228	71	-
営業利益率	-	-	-	-

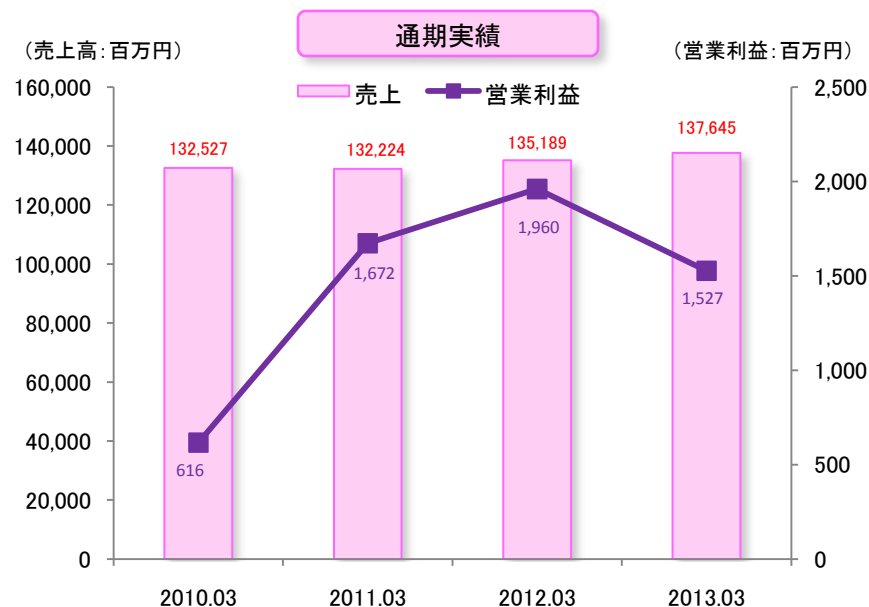
**【第4四半期の状況】**

(売上高)

- ・水産事業は、マリンフーズは量販店向けの売上が伸長したが、寿司店向けの売上が減少。
- ・乳製品事業は、チーズ、ヨーグルトともに量販店向けの販売が好調に推移。

(営業利益)

- ・水産事業は、量販店向けの販売数量伸長による販売経費増で減益。
- ・乳製品事業は、ヨーグルトはCVS向けのNB商品の売上が減少したことにより利益率が低下したが、チーズは工場稼動が安定する中、生産性を高め、増益。



(単位: 百万円, %)

	2012.03 4Q	2013.03 4Q	前年差	前年比
売上高計	135,189	137,645	2,456	1.8
営業利益	1,960	1,527	△ 433	△ 22.1
営業利益率	1.4	1.1	-	-

**【通期の状況】**

(売上高)

- ・水産事業は、マリンフーズは量販店チャネルへの拡販を行ない、数量は伸長したが、相場下落の影響により販売単価が下がり、売上は微増。
- ・乳製品事業は、ヨーグルト事業において消費者の健康志向を背景にドリンクヨーグルトを中心に売上が伸長し、増収。

(営業利益)

- ・水産事業は、一部魚種の相場下落により利益率が低下し、減益。
  - ・乳製品事業は、ヨーグルトがドリンクヨーグルトの数量伸長とそれに伴う生産性の向上により、増益。
- チーズは原料価格が安定する中、販売も堅調に推移し、増益。

## ●水産事業の実績

(マリンフーズ)

- ・寿司店チャネルは、大手回転寿司チェーンへの販売が減少したが、量販店チャネルは、重点商品のサーモン等を中心に拡販し伸長。
- ・自社工場製品は、既存商品が苦戦し数量は前年を割り込んだが、新商品でカバーし、金額では横ばい。

(宝幸)

- ・水産事業は、ロシア商材(魚卵、紅鮭)等の販売が伸長し増収。

【(参考) マリンフーズ(株) 自社工場製品売上高伸び率】

	2013.03 通期実績
自社工場製品	8,387ト <sub>ン</sub>
対前年比	97%

【(参考) マリンフーズ(株) チャネル別売上金額伸び率】

	対前年比
	2013.03 通期実績
量販店チャネル	105%
外食チャネル	92%

## ●乳製品事業の実績

(チーズ)

- ・ベビーチーズを軸にコンシューマ向けの拡販に取り組み、量販店チャネル向けの売上が伸長したが、外食チャネル向けの販売が苦戦し、全体では横ばい。

【(参考) 乳製品売上高伸び率】

	対前年比
	2013.03 通期実績
チーズ	99%
ヨーグルト	118%



(写真)「ロールベビーチーズ」シリーズ

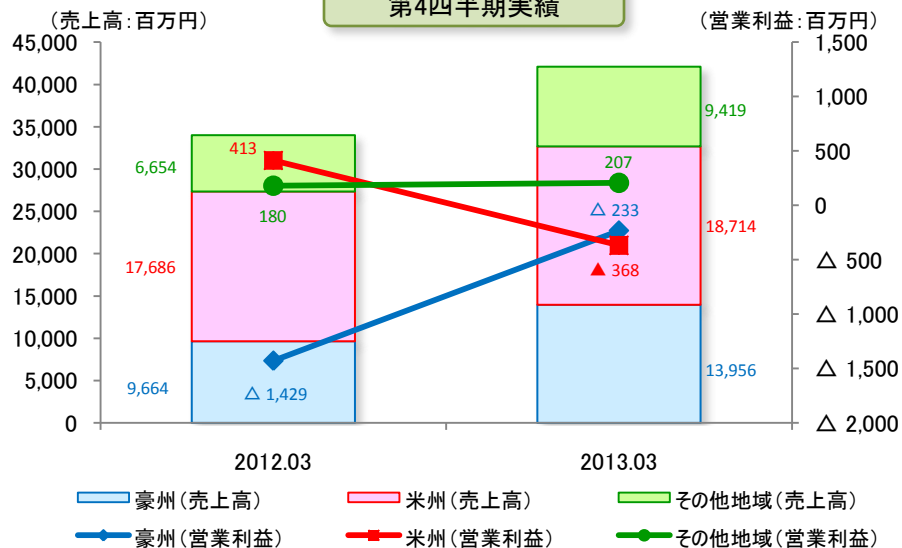
(ヨーグルト)

- ・販促を強化した量販店と、PB品のドリンクヨーグルトが導入されているCVSで売上が伸長。

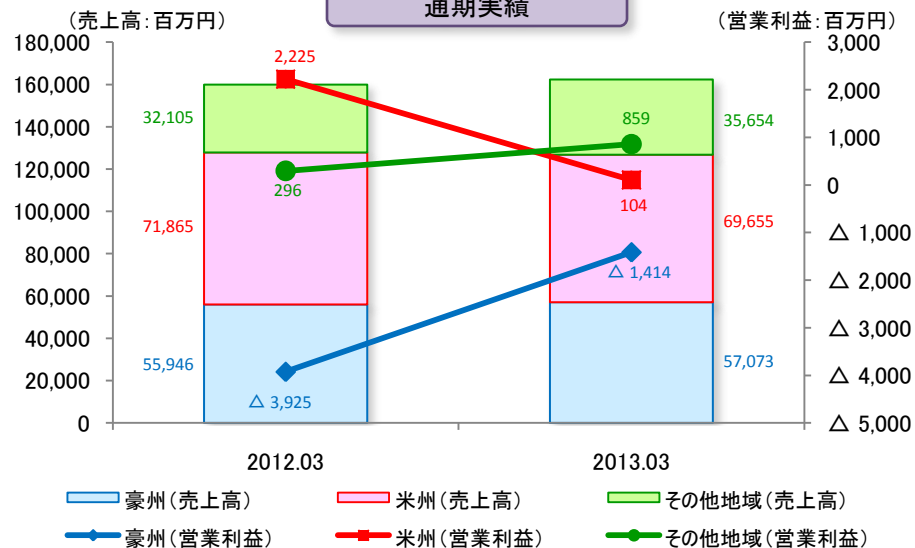


(写真)「パニラヨーグルト」

### 第4四半期実績



### 通期実績



(単位: 百万円)

		2012.03 4Q	2013.03 4Q	前年差	前年比
海外計	売上高	33,625	41,163	7,538	22.4
	営業利益	△ 832	△ 396	436	-
豪州	売上高	9,664	13,956	4,292	44.4
	営業利益	△ 1,429	△ 233	1,196	-
米州	売上高	17,686	18,714	1,028	5.8
	営業利益	413	△ 368	△ 781	-
その他地域	売上高	6,654	9,419	2,765	41.6
	営業利益	180	207	27	15.0

※売上金額は、セグメント間の内部売上高を消去する前の金額です。(セグメント間取引の消去があるため、海外計は各地域の合計とは一致しません)

※米州には、北米と南米の事業が含まれます。また、その他地域は、アジア、欧州です。

#### 【第4四半期の状況】

(豪州)

- ・牛生体の仕入コストの減少及び日本、アジア等への販売が伸長したことにより、増収・増益。

(米州)

- ・干ばつによる飼料高により、養豚事業が影響を受け、減益。

(アジア)

- ・アジア全体では増収となり、改善傾向。

#### 【通期の状況】

(豪州)

- ・販売数量増と、牛生体価格が落ち着き、収益は改善。

(米州)

- ・養豚事業において、穀物相場の高騰及び豚生体相場の下落が影響し減益。

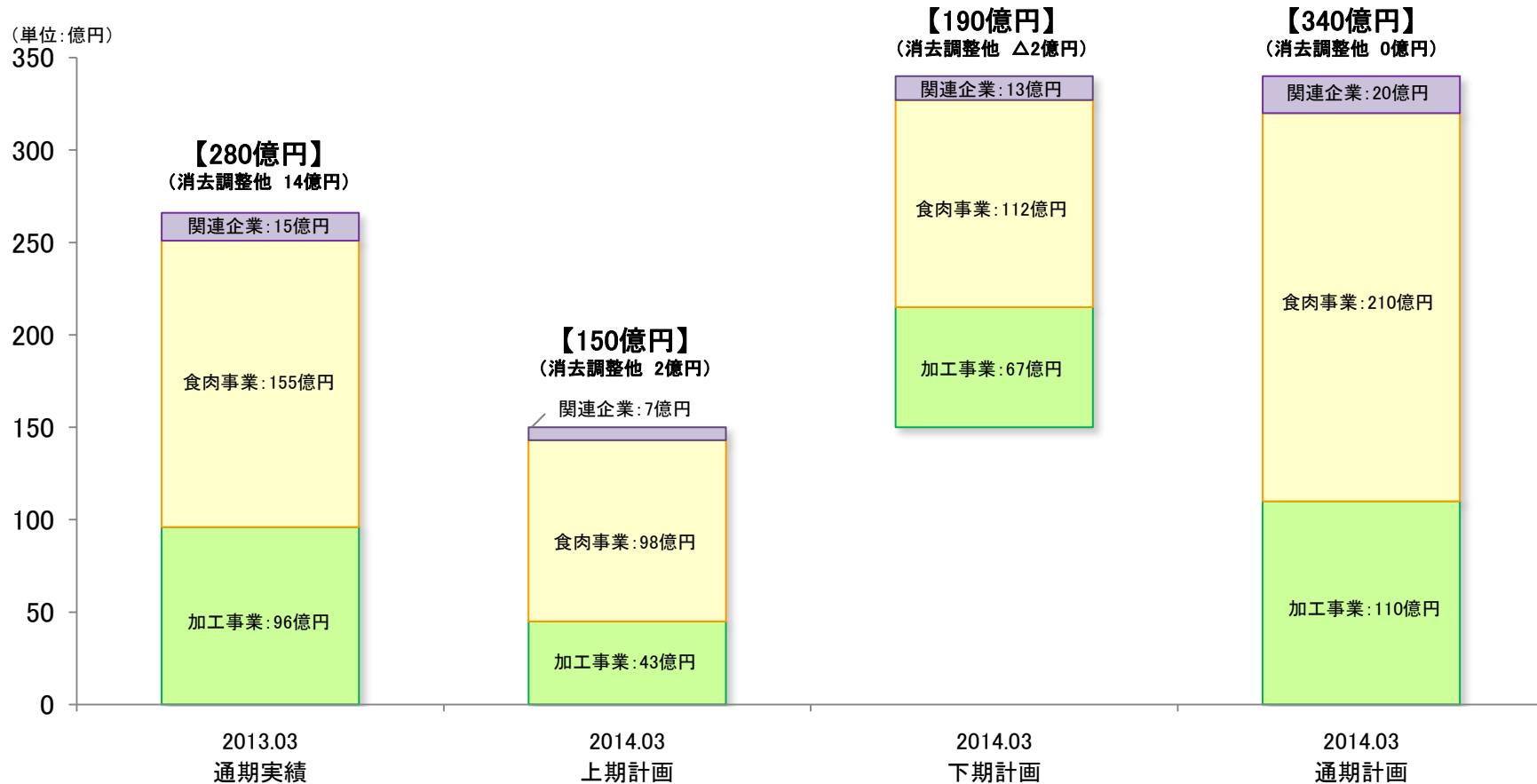
(アジア)

- ・タイの洪水影響が残ったが、アジア全体では増益。

## Ⅱ. 2014年3月期の見通し

1. 2014年3月期 営業利益計画
2. 2014年3月期計画(加工事業本部)
3. 2014年3月期計画(食肉事業本部)
4. 2014年3月期計画(関連企業本部)

# 1. 2014年3月期 営業利益計画



	2013.03 通期実績			2014.03 上期計画			2014.03 下期計画			2014.03 通期計画		
	2012.03 通期実績		増減	2013.03 上期実績		増減	2013.03 下期実績		増減	2013.03 通期実績		増減
加工事業本部	80億円	<b>96億円</b>	+15億円	35億円	<b>43億円</b>	8億円	61億円	<b>67億円</b>	6億円	96億円	<b>110億円</b>	14億円
食肉事業本部	162億円	<b>155億円</b>	△6億円	51億円	<b>98億円</b>	47億円	104億円	<b>112億円</b>	8億円	155億円	<b>210億円</b>	55億円
関連企業本部	20億円	<b>15億円</b>	△4億円	5億円	<b>7億円</b>	2億円	10億円	<b>13億円</b>	3億円	15億円	<b>20億円</b>	5億円
消去調整他	4億円	<b>14億円</b>	+10億円	7億円	<b>2億円</b>	△5億円	7億円	<b>△2億円</b>	△9億円	14億円	<b>0億円</b>	△14億円
合計	265億円	<b>280億円</b>	+15億円	98億円	<b>150億円</b>	52億円	182億円	<b>190億円</b>	8億円	280億円	<b>340億円</b>	60億円

※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合がございます

●トピックス(通期)

【原料・資材価格の上昇による営業利益への影響】

⇒主原料・副資材、燃料等の高騰影響は、約67億円を見込む。コストダウン、価格改定施策等でカバー。

【コスト改善効果、価格改定効果】

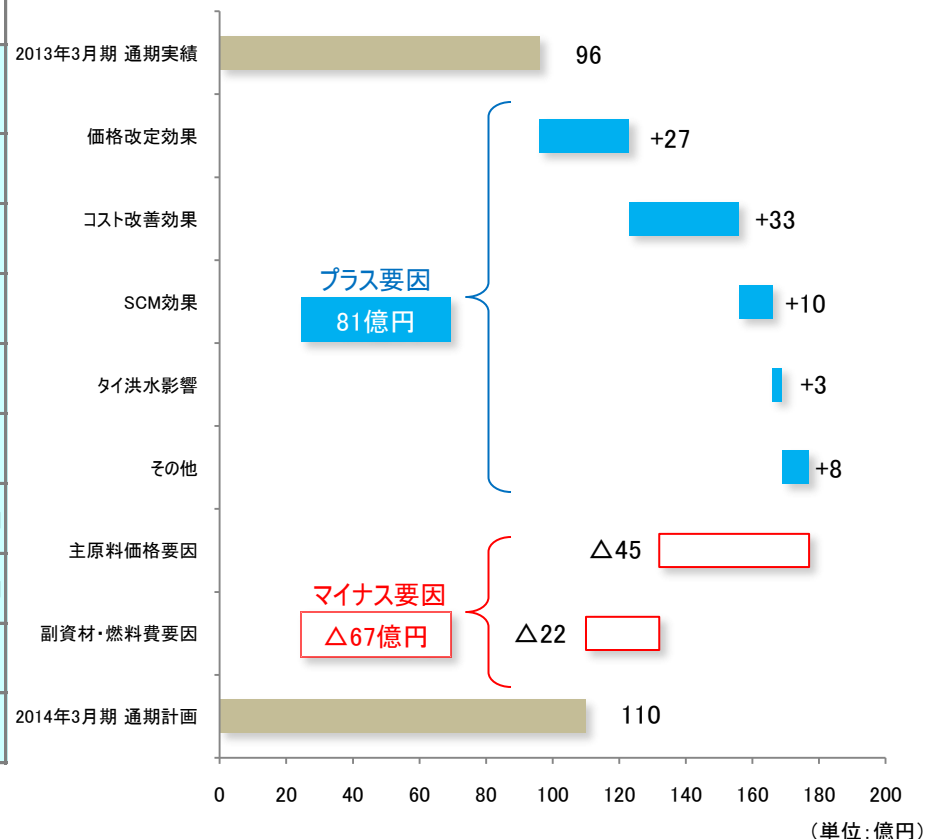
⇒2013年7月より、価格改定を実施。コンシューマ主力商品を中心に規格変更(重量変更)による改定を予定。

【営業利益増減要因分析】

	2014.03 計画				
	1Q 計画	2Q 計画	3Q 計画	4Q 計画	通期累計 実績
価格改定効果	0億円	9億円	9億円	9億円	27億円
コスト改善効果	8億円	8億円	9億円	8億円	33億円
SCM効果	2億円	3億円	3億円	2億円	10億円
タイ洪水影響	1億円	1億円	1億円	0億円	3億円
主原料・副資材要因					
(内訳)主原料価格	△9億円	△11億円	△15億円	△10億円	△45億円
(内訳)副資材・燃料等	△3億円	△4億円	△8億円	△7億円	△22億円
その他	1億円	2億円	3億円	2億円	8億円
合計	0億円	8億円	2億円	4億円	14億円

※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合がございます

【通期計画の増減要因グラフ】





## ●ギフト売上拡大施策

- ・中元、歳暮ギフトともに103%を目標(前年比、個数ベース)。
- ・旗艦ブランドの『美ノ国』を中心に、販促展開(TVCM、雑誌広告)。

## (参考)

- ・フラッグシップの「美ノ国」は前年比120%以上を目指す。

【(参考)ギフト販売個数 実績と2014年3月期販売計画】

(単位:千個)

	2013.03 実績		2014.03 計画	
	個数	前年比	個数	前年比
中元ギフト販売個数	2,026	101%	2,080	103%
歳暮ギフト販売個数	4,759	99%	4,900	103%
合計	6,785	100%	6,980	103%

## ●主要ブランド・新商品売上拡大施策

## ①ハム・ソーセージ

- ・『彩りキッチン』シリーズや、今期30周年を迎える主力の『シャウエッセン』の更なる拡販を図る。

## ②加工食品

- ・好調な『4種チーズのハンバーグ』や、主力商品・新商品の拡販を図る。

【(参考)主要ブランド商品売上高実績と計画(対前年同期比)】

ハム・ソーセージ	2014.03通期計画	加工食品	2014.03通期計画
シャウエッセン	103%	石窯工房群	103%
森の薫り新あらびきウインナー	103%	中華名菜群	103%
ローズハム群	103%	プリフライ群	100%
ベーコン群	102%	ハンバーグ・ミートホール群	102%
焼豚群	110%	カレー群	100%

## ●チャンネル別売上拡大施策

## ①コンシューマ

- ・ハム・ソーセージ、加工食品ともに、主力ブランド商品を中心に拡大を図る。

## ②業務用

- ・CVS、外食を中心にアイテムを拡大し、販売強化を図る。

【(参考)チャンネル別 売上高伸び率(対前年同期比)】

2014.03 通期計画		金額
ハム・ソーセージ	コンシューマ	102%
	業務用	102%
	合計	102%
加工食品	コンシューマ	102%
	業務用	103%
	合計	102%

●トピックス(通期)

【国内食肉】ブランド化を進め、国内3畜種(牛・豚・鶏)の売上拡大を図る。

【食肉販売】フード会社は量販店チャンネルでのシェア拡大を図る。全体では数量伸長105%(前年比)を目標に取り組む。

【国内生産】ファーム部門の強化を実施。鶏は増羽と生産性改善を図る。豚も生産性改善で収支改善を図る。

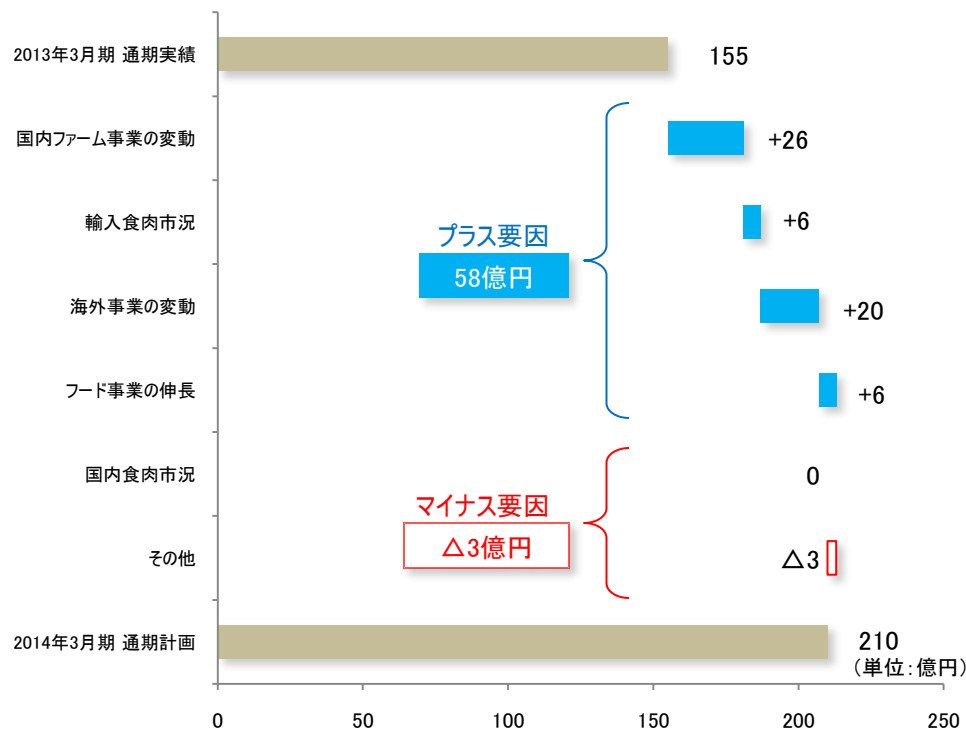
【輸入食肉】鶏肉収支の安定化と、チルドポーク、チルドビーフの拡販を図る。

【海外事業】豪州事業は、対日向け商品(ワイアリーフ)の拡大、生産事業の改革、ASEAN向け販売の拡充等で収支改善を目指す。

【営業利益増減要因分析】

【通期計画の増減要因グラフ】

	2014.03 計画				
	1Q 計画	2Q 計画	3Q 計画	4Q 計画	通期 計画
国内ファーム事業の変動	10億円	7億円	4億円	5億円	26億円
輸入食肉市況	4億円	4億円	0億円	△2億円	6億円
海外事業の変動(豪州、米州)	7億円	9億円	4億円	0億円	20億円
フード事業の伸長	1億円	2億円	2億円	1億円	6億円
国内食肉市況	△1億円	5億円	△2億円	△2億円	0億円
その他	△1億円	0億円	△1億円	△1億円	△3億円
合計	20億円	27億円	7億円	1億円	55億円



※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合がございます

## ●国内生産事業

### ①飼料価格

・海外のとうもろこし価格は落ち着いてきたが、円安の影響もあり今期も高値で推移する見通し。

### ②国内ファーム事業

#### 【養豚】

・豚肉相場は夏場にかけて回復する見通し。

#### 【養鶏】

・鶏肉相場は昨年より回復する見通し。生産性の改善等により生産コスト低減を図る。

## ●海外事業

### ①豪州事業の改革

・原価低減による利益率の改善と、新商品導入等により、日本向け販売の更なる拡大を図る。

・ASEANに対し、豪州産牛肉販売を強化。

### ②米州事業

・牛は飼養頭数減少に伴い、相場は高値圏での推移が見込まれる。

・豚は、相場が前年より高値で推移する見通し。

## ●国内営業、食肉販売(フード会社)

・量販店への更なる強化と新規開拓による営業力強化を図り、引き続き1%のシェアアップを目指す。

・国内3畜種のうち、特に牛の拡販を図り、数量拡大を目指す。

・「ワイアリーフ」、「けんこう豚」、「桜姫」などのブランド食肉の販売を強化。



(写真)「桜姫」コンシューマパック  
※2013年7月より販売開始

## ●水産事業の売上拡大施策

(マリンフーズ)

- ・商品開発力強化による国内自社工場製品の拡販。
- ・量販チャンネルに対する海老・サーモン関連商材を中心とした重点商品の拡販によるシェア拡大。
- ・寿司店チャンネルに対する提案営業の実施による寿司種、国内自社工場商品の売上拡大。

(宝幸)

- ・水産事業は、量販店、外食チャンネルなどの川下戦略の取り組み強化。
- ・常温食品事業(缶詰)は、生産能力を増強した八戸工場製品の拡販。



(写真)「サーモン入りシーサラダ」

## ●乳製品事業の売上拡大施策

(チーズ)

- ・主力チャンネルへの提案営業強化による売上の伸長。
- ・商品ラインアップ強化によるコンシューマ商品の拡販。

(ヨーグルト)

- ・カップ飲料をはじめとしたコンビニ向けPB商品の強化と、NB商品の開発強化。
- ・主力のバニラヨーグルト商品群を中心とした量販店チャンネル、生協チャンネルの攻略。



(写真)「Maazelu (マーゼル)」シリーズ

## ●主原料・副資材価格の動向

- ・チーズ原料は、オセアニアで発生した旱魃の影響により、価格は大幅に上昇する見込み。
- ・ヨーグルト原料は、国産の脱脂粉乳の需給状況が厳しいことから、価格は高値で推移。
- ・海外粉乳においても、主要産地であるオセアニアにおいて生産量が減少していることから、価格は上昇。

### Ⅲ. 2013年3月期 期末財務データ

1. 2013年3月期連結業績概要及び2014年3月期計画
2. 連結売上区分伸び率、所在地別セグメント情報
3. 販管費、その他の営業費用、その他の収益
4. 連結貸借対照表の主な項目、設備投資額、減価償却費
5. 連結キャッシュ・フロー

# 1. 2013年3月期連結業績概要及び2014年3月期計画

Copyright (C) 2013 Nippon Meat Packers, Inc. All rights reserved.

(単位: 百万円、%)

《連結業績》	2013年3月期実績						2014年3月期計画					
	上期 実績	前年比	下期 実績	前年比	通期 実績	前年比	上期 計画	前年比	下期 計画	前年比	通期 計画	前年比
売上高	496,691	△ 1.9	526,148	2.9	1,022,839	0.5	520,000	4.7	540,000	2.6	1,060,000	3.6
ハム・ソーセージ	67,301	2.5	72,647	1.4	139,948	1.9	68,500	1.8	73,000	0.5	141,500	1.1
加工食品	100,451	0.5	104,305	1.1	204,756	0.8	102,500	2.0	106,500	2.1	209,000	2.1
食肉	263,175	△ 5.0	278,423	4.3	541,598	△ 0.5	280,500	6.6	290,000	4.2	570,500	5.3
牛肉	99,101	△ 2.7	105,749	10.6	204,850	3.7	109,500	10.5	111,500	5.4	221,000	7.9
豚肉	98,726	△ 2.4	101,577	1.1	200,303	△ 0.6	101,500	2.8	104,500	2.9	206,000	2.8
鶏肉	55,664	△ 10.2	62,221	2.2	117,885	△ 4.1	59,000	6.0	65,000	4.5	124,000	5.2
その他食肉	9,684	△ 19.9	8,876	△ 11.5	18,560	△ 16.1	10,500	8.4	9,000	1.4	19,500	5.1
水産	40,192	2.7	43,637	△ 0.1	83,829	1.2	41,500	3.3	43,500	△ 0.3	85,000	1.4
乳製品	12,769	12.6	12,386	3.9	25,155	8.1	13,000	1.8	13,000	5.0	26,000	3.4
その他	12,803	△ 2.8	14,750	5.3	27,553	1.4	14,000	9.3	14,000	△ 5.1	28,000	1.6
売上原価	404,573	△ 1.6	422,485	2.8	827,058	0.6						
売上総利益	92,118	△ 3.3	103,663	3.4	195,781	0.1						
売上総利益率	18.5%	-	19.7%	-	19.1%	-						
販売費及び一般管理費	82,279	△ 1.2	85,481	△ 0.3	167,760	△ 0.8						
営業利益	9,839	△ 18.0	18,182	25.3	28,021	5.7	15,000	52.5	19,000	4.5	34,000	21.3
税引前利益	7,946	△ 17.0	20,085	16.8	28,031	4.7	13,000	63.6	17,000	△ 15.4	30,000	7.0
当社株主帰属当期純利益	3,881	△ 19.1	12,578	83.5	16,459	41.2	7,500	93.2	9,500	△ 24.5	17,000	3.3

\* 米国会計基準を組替えて表示しております。

\* 前年比は、対前年増減率で表示しております。

## 【連結売上区分別伸び率】

(単位: %)

区分	2012年3月期 (対 2011年3月期比)				2013年3月期 (対 2012年3月期比)			
	4Q		通期		4Q		通期	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
ハム・ソーセージ	7.0	4.9	3.0	1.7	△ 4.2	0.0	2.6	1.9
加工食品	1.9	3.2	1.8	2.7	△ 1.5	△ 0.5	0.5	0.8
食肉	6.8	△ 2.6	3.4	2.6	0.8	5.9	2.1	△ 0.5
牛肉	3.2	△ 5.0	5.5	2.7	8.0	13.9	△ 1.5	3.7
豚肉	8.2	2.5	4.3	3.0	△ 3.3	△ 0.4	0.8	△ 0.6
鶏肉	8.2	△ 6.0	0.8	3.0	2.8	7.8	7.9	△ 4.1
その他食肉	2.7	△ 11.6	0.5	△ 2.8	△ 20.5	△ 14.3	△ 11.3	△ 16.1

## 【所在地別セグメント状況】

(単位: 百万円、%)

	2013年3月期実績			2014年3月期計画					
	上期 実績	下期 実績	通期 実績	上期 計画	前年比	下期 計画	前年比	通期 計画	前年比
国内売上高	461,110	486,278	947,388	478,400	3.7	497,400	2.3	975,800	3.0
外部顧客売上高	460,777	485,928	946,705	478,000	3.7	497,000	2.3	975,000	3.0
セグメント間内部売上高	333	350	683	400	20.1	400	14.3	800	17.1
国内営業利益	10,824	17,800	28,624	14,000	29.3	18,000	1.1	32,000	11.8
国内売上高営業利益率	2.3%	3.7%	3.0%	2.9%	-	3.6%	-	3.3%	-
海外売上高	75,636	83,237	158,873	87,600	15.8	89,600	7.6	177,200	11.5
外部顧客売上高	35,914	40,220	76,134	42,000	16.9	43,000	6.9	85,000	11.6
セグメント間内部売上高	39,722	43,017	82,739	45,600	14.8	46,600	8.3	92,200	11.4
海外営業利益	△ 668	194	△ 474	1,000	-	1,000	-	2,000	-
海外売上高営業利益率	-	0.2%	-	1.1%	-	1.1%	-	1.1%	-

\* 所在地別セグメント状況の売上金額は、セグメント間の内部売上高を消去する前の金額です。

\* 前年比は、対前年増減率で表示しております。

### 3. 販管費、その他の営業費用、その他の収益

(単位: 百万円、%)

	2012年3月期 通期実績	2013年3月期		
		通期実績	対前年増減率	対前年増減額
★① <<販管費>>				
販売費及び一般管理費	169,049	167,760	△ 0.8	△ 1,289
人件費	65,933	66,148	0.3	215
広告宣伝費	10,868	10,482	△ 3.6	△ 386
★② 物流費	39,304	40,482	3.0	1,178
その他	52,944	50,648	△ 4.3	△ 2,296

主な増減要因

★① 販管費

全体では約13億円減少し、売上高販管比率も0.2ポイント減少。

★② 物流費

物流費のうち冷蔵費は約4億円増加、運賃は約8億円増加。

(単位: 百万円、%)

	2012年3月期 通期実績	2013年3月期		
		通期実績	対前年増減率	対前年増減額
★① その他の営業費用及び(△収益)-純額	2,319	131	△ 94.4	△ 2,188
固定資産減損損失	2,213	1,519	△ 31.4	△ 694
特別退職金	107	128	19.6	21
その他	△ 1	△ 1,516	-	△ 1,515
その他の収益及び(△費用)-純額	282	1,723	-	1,441
受取利息・配当金	848	988	16.5	140
有価証券評価損・売却損益	△ 255	△ 63	-	192
為替差損益	△ 279	841	-	1,120
その他	△ 32	△ 43	-	△ 11
プロ野球選手移籍金	4,017	0	-	△ 4,017
支払利息	1,727	1,582	△ 8.4	△ 145

主な増減要因

★① その他の営業費用及び(△収益)-純額 その他

タイ洪水被害の保険金収入(約22億円)。



#### 4. 連結貸借対照表の主な項目、設備投資額、減価償却費

Copyright (C) 2013 Nippon Meat Packers, Inc. All rights reserved.

(単位:百万円、%)

《連結貸借対照表》		2012年3月期 期末実績	2013年3月期 期末実績	対前期末 増減率	対前期末 増減額
★①	資産合計	589,125	610,293	3.6	21,168
	現金及び現金同等物	63,651	36,475	△ 42.7	△ 27,176
★②	売上債権	119,959	123,972	3.3	4,013
★③	棚卸資産	112,516	113,187	0.6	671
	有形固定資産	213,663	224,785	5.2	11,122
	投資及びその他の資産	28,889	30,685	6.2	1,796
	長期繰延税金資産	13,368	12,531	△ 6.3	△ 837
	負債合計	296,857	314,209	5.8	17,352
	支払手形及び買掛金	96,822	102,148	5.5	5,326
★④	有利子負債	139,187	149,821	7.6	10,634
	退職金及び年金債務	17,170	15,005	△ 12.6	△ 2,165
	当社株主資本	290,020	293,414	1.2	3,394
	非支配持分	2,248	2,670	18.8	422
	資本合計	292,268	296,084	1.3	3,816

#### 主な増減要因

- ★① 資産合計
- ★② 売上債権
- ★③ 棚卸資産
- ★④ 有利子負債

②③を含めて約212億円の増加。  
 第4四半期(1月～3月)の売上高増加により、約40億円の増加。  
 為替換算の影響(円安)等により約7億円の増加  
 普通社債の発行等により約106億円の増加。

(単位:百万円、%)

《設備投資額、減価償却費》	2012年3月期 通期実績	通期計画	2013年3月期			2014年3月期 通期計画
			通期実績	対前年増減率	対前年増減額	
設備投資額	19,487	43,000	33,285	70.8	13,798	32,000
生産設備	8,843	12,600	11,180	26.4	2,337	15,700
販売・物流設備	2,390	12,700	8,984	275.9	6,594	4,500
ファーム・処理設備	4,871	8,100	8,203	68.4	3,332	6,500
海外事業設備	2,006	4,800	2,118	5.6	112	3,300
その他設備	1,377	4,800	2,800	103.3	1,423	2,000
減価償却費	23,756	22,000	19,323	△ 18.7	△ 4,433	20,000

(単位:百万円)

《連結キャッシュ・フロー計算書》	2012年3月期	2013年3月期		2014年3月期 通期計画
	通期実績	通期実績	対前年増減額	
★① 営業活動キャッシュ・フロー	26,432	37,407	10,975	410億円
★② 投資活動キャッシュ・フロー	9,750	△ 54,813	△ 64,563	△250億円
財務活動キャッシュ・フロー	△ 23,745	△ 10,964	12,781	△170億円

### 主な増減要因

#### ★① 営業キャッシュ・フローの主な内訳

(単位:百万円)

	2012年3月期	2013年3月期	
	通期実績	通期実績	対前年増減額
売上債権(△増)減	△ 15,532	△ 3,178	12,354
棚卸資産(△増)減	△ 4,567	1,722	6,289

#### ★② 投資キャッシュ・フローの主な内訳

(単位:百万円)

	2012年3月期	2013年3月期	
	通期実績	通期実績	対前年増減額
固定資産の取得	△ 17,311	△ 29,904	△ 12,593
短期投資の(△増)減	23,783	△ 27,330	△ 51,113

## お問合せ先

〒141-6014 東京都品川区大崎2-1-1

ThinkPark Tower 14階

日本ハム株式会社 広報IR部

電話：03-4555-8024

FAX：03-4555-8189

## 見通しに関する注意事項

この資料には、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する見通しの記述が含まれています。

これらの記述は当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定及び所信に基づく見通しです。

また、経済環境、市場動向、為替レートなどの外部環境の影響があります。

従って、これら業績見通しのみで全面的に依拠することはお控え頂きますようお願い致します。

また、実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しと異なる結果となりうることをご承知おき下さい。